

令和2年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

新しい時代に対応できるよう、思考力・判断力を身につけ、心豊かな人間性を育む学校をめざす。

- 1 建学の精神「報恩感謝」を大切に、教育理念「人をつくる」に基づく教育を実践することにより、人間的な成長を実現し人格の形成をめざす。
- 2 すべての教育活動において、きめ細かい指導を行い個性や能力を伸ばし、自立にむけて必要とされる基盤や他者を思いやる心を育成する。
- 3 学校行事や部活動への積極的参加を促し情操面を豊かにし、試行錯誤の中から問題の発見・解決できる力を育成する。

2 中期的目標

【1】建学の精神・教育理念・教育方針に基づいて教育の実践を行い、私学としての独自性を発揮する。

(1) 私学の独自性

- ア. 建学の精神「報恩感謝」・教育理念「人をつくる」を教職員がよく理解し、それに基づいて教育を行う。
 - イ. 入学式・卒業式・全体集会などの取り組みを通じて、建学の精神や教育理念について生徒の理解を深める。
 - ウ. 教育方針「個性の尊重」「実行から学べ」「明朗と自主」「礼儀と品性」に基づき、学校行事も含めあらゆる教育活動を通して、人格形成を図る。
- ※教員の評価アンケートにおける「建学の精神の理解」の目標値は4.5以上。(令和2年度 4.3)これを令和3年度までに目標値にする。

(2) 生徒のニーズに対応したコース制

- ア. 生徒の多様なニーズに対応し、英数・英数発展・6年一貫の3つのコース制を設ける。また、授業評価によりPDCAサイクルを確立させ教育活動を行う。
 - イ. 英数コースは、勉強はもとより部活動もしっかり取り組めるコース。心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。
 - ウ. 英数発展コースは、応用的な内容まで掘り下げた授業を展開し、何事も深く追求したいというニーズに応える。
 - エ. 6年一貫コースは、自分の夢・目標を実現させる力を備え、これからの社会で活躍できる人材を育成する。
- ※生徒評価アンケートにおける「コース満足度」の目標値は4.0以上。(令和2年度 4.2)は昨年より0.1ポイント上昇したが、これを維持できるよう努力する。

(3) 進路指導

- ア. 生徒が、より良い進路選択ができるよう、進路情報を提供するための進路ガイダンスを行う。
 - イ. 個々の生徒に応じた希望・目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行う。
- ※生徒評価アンケートにおける「進路面接等の満足度」の目標値は4.0以上。(令和2年度 4.2)0.2ポイント上昇した。

【2】学習面において時代の変化に対応した、きめ細かい指導を行い確かな学力を育成するとともに、人権を尊重する学校づくりを行う。

(1) 教科指導

- ア. 各教科はシラバスに沿って指導するが、グループ学習を取り入れ「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善に取り組む。
 - イ. 授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業を行う。
 - ウ. 基礎学力の向上をめざすため、放課後学習・休暇中の講習を実施する。
- ※生徒・保護者の評価アンケートにおける「学力向上の意欲」の目標値は4.0以上。(令和2年度 生徒4.1 保護者3.7)と生徒の満足度は0.3ポイント上昇し、目標値に達したが、保護者から見れば満足するような結果ではなかった。保護者の評価を令和3年度までに目標値になるよう努力する。

(2) 人権教育

- ア. 生徒一人ひとりが互いの個性を尊重し合う集団づくりを行う。その中で「心のバリアフリー」推進の動向をふまえ、障がいの有無にかかわらず、多様性を尊重する障害者理解を推進し、人権感覚を持ち相手の身になって行動できるよう、日々の学校生活すべての活動を通して指導する。
- イ. いじめ等を未然に防ぐため各学年、日直面談を行い、学期ごとに「仲間づくりアンケート」を実施するなど生徒との接点を密にする努力を行う。
- ウ. 学年毎にテーマを決め人権教育を行う。
- エ. 12月の人権週間には人権講演を実施する。

※生徒・保護者の評価アンケートにおける「学校のいじめの対応満足度」の目標値は4.0以上。(令和2年度 生徒3.8 保護者3.8)生徒評価が0.3ポイント下降し目標値を下回った。令和3年度年度には目標値を達成する。

【3】基本的な生活習慣の確立を行うとともに、安全で安心な学校づくりと生徒への支援を行う。また、学校行事や部活動を通じて豊かな人格形成を行う。

(1) 生活指導

- ア. 個別の問題行動の対応にとどまることなく、基本的な生活習慣と規律ある態度を養うように指導を行い、集団生活における社会性を身につけさせる。
- イ. 挨拶運動等を実施し、基本的なマナー及び乗車マナーの向上に努める。

※生徒・保護者の評価アンケートにおける「教員の規則を守らせる指導」の目標値は4.0以上。(令和2年度 生徒4.4 保護者4.1)昨年に引き続き目標値に達した。

(2) 危機管理と情報公開

- 生徒の安全・安心を優先して危機管理に当たり、私学の有する公の性質と学校教育に果たす役割を考慮して情報を公開する。
- ア. 教職員は生徒の安全が何よりも大切であるという認識を日頃からもち、危機管理マニュアルを作成し安全・安心な学校をめざす。また、災害に備え備蓄品を整える。
 - イ. 情報モラル講演会などにより、スマートフォンなどの情報機器の正しい使用法を習得させる。
 - ウ. 学校ホームページ等で可能な範囲の教育活動や情報の公開を行う。

※教員自己評価アンケートにおける「学校安全対策」の目標値は4.5以上。(令和2年度 4.2)であり、昨年より0.1ポイント上昇したが、令和3年度年度まで目標値に近づこう努力する。

※保護者評価アンケートにおける「学校の情報公開」の目標値は4.0以上。(令和2年度 保護者4.0)と昨年と同じであり、創意工夫を重ねて令和3年度年度には4.2とする。

(3) 学校行事や部活動

- ア. 社会性や協調性の育成のため、クラブ活動を奨励する。
 - イ. 情操面を豊かに育てるため、宿泊研修、校外学習、耐寒オリエンテーリングなど多彩な行事を充実させる。
- ※クラブ活動や行事の目標値は4.2以上。クラブ活動(令和2年度 4.3)行事(令和2年度 4.3)と昨年同様高評価である。次年度もこれを維持する。

(4) 課題を抱えている生徒への支援

- ア. 生徒が抱えている問題に対して、支援コーディネーターを中心に相談係りが一人ひとりを大切にしたきめ細かい相談・指導を行う。
- イ. 保護者、ICP(臨床心理研究所)と連携し、生徒の問題解決に支援を行う。

※生徒評価アンケートにおける「個人面談等の満足度」の目標値は4.0以上。(令和2年度3.9)昨年より0.1ポイント上昇したが、令和3年度年度には目標値に達したい。

【4】保護者・同窓会・後援会との連携と社会貢献

- ア. 保護者と協力しPTA活動を活発にするとともに、保護者・同窓会・後援会とも連携し、文化祭・体育会などの生徒会活動を支援する。
- イ. 復興支援やボランティア活動等で地域に協力する。

※保護者評価アンケートにおける「PTA活動の満足度」の目標値は4.0以上。(令和2年度 3.6)と昨年より大幅に下降した。これは、新型ウィルスの影響により今年までのPTA活動ができなかったためであり、来年度は目標値を目指したい。

※生徒評価アンケートにおける「生徒会活動の満足度」の目標値は4.0以上。(令和2年度 4.2)であり、令和3年度まで維持する。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [(令和2年度)2020年11月実施]	学校協議会からの意見
<p>評価項目：教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行う 評価方法：各項目について、5段階評価で行う 5：大変そう思う 4：どちらかといえば思う 3：普通 2：あまり思わない 1：全く思わない</p> <p>○全体評価 ・「入学して良かったか」の設問に対し、生徒 4.4・保護者 4.3 と昨年に引き続き高評価であり、これからも良い評価を目指す。</p> <p>○学習指導等 ・文部科学省の提唱する「生きる力」を育むため取り入れた主体的・対話的で深い学びであるアクティブラーニング的な授業や生徒の授業に対する取り組みの評価は、教員 4.1、生徒 4.1 となっている。教員は来年度から始まる新学習指導要領による改善を熟知しながら、生徒が意欲的に学習できるよう、今後とも研鑽を続けたい。</p> <p>○生徒指導等 ・「基本的生活習慣」の再確認と育成を行いました。教員の自己評価は 4.1 と昨年より 0.3 ポイント下降している。今一度、子供たちの基本的生活習慣を見つめなおすよう努力したい。また、生徒・保護者の評価は、昨年同様高評価である。 ・近年、「いじめ」についての見解が大きく変わり、人により認識も大きくずれが生じているように思える。そんな中「いじめの対応」について、それぞれの事象が背景・性格等一つ一つのケースが異なるため、教員の対応が試行錯誤の繰り返しになっている。そのため教員自身の自己評価は 4.3 と昨年より 0.1 ポイント下降した。しかし、教員は一人ひとり「いじめ」に対して真摯に向き合い努力している。生徒・保護者から見た評価が 4.0 を下回っているのは、面談や子供たちの様子で「いじめ」の芽を摘み取ることが完全にできていない対応に満足していないからと思われる。今後、教員の対応研修を重ねる努力を行う。 ・「クラブ活動と多彩な行事」は「実行から学べ」の教育方針のもと、体験を通して学んだ知識を使いこなせる能力を身につけるために力を注いでいる。人間力の育成に重要な行事やクラブ活動及び人間関係の項目は、いずれも高評価である。</p> <p>○学校運営 ・学校運営について、昨年同様教員による自己評価は概ね 3.8 で教育内容に比べ評価が低い、教員間の相互理解のもと、少子化に伴う私学経営の危機感を共有し、学校経営計画に沿って教育に専念するよう今後も努力が必要である。 ・学習に関する評価では教員の自己評価は殆んど 4.0 以上と高いが、「学習の遅れている生徒への支援」については 3.8 と低い。今後、少子化に伴い学習に意欲的でない生徒も多く入学することも予想されることから、殆んどの教員が一人ひとりの実情に合わせて生徒への学習支援について研鑽を行い、より良い指導ができるようにする。 ・教員研修・資質向上に関して、校内研修については人権教育・生徒理解など計画的に実施しているが、今年は新型ウィルスの影響により外部研修や自己研鑽に参加することができていない。オンライン授業の準備・消毒作業や校務で忙しい中ではあるが、来年度は外部研修に参加する時間を取る。</p> <p>【分析】 今年度の学校評価については新型ウィルスの影響による1学期の休校による課題配信、オンライン授業などから始まり、分散登校になると授業準備や消毒作業と教員はフル回転で感染症対策と授業をやってきたが、このウィルスが人体にどのような影響を及ぼすのかわからない状態で、人命を優先するため多くの行事を延期、縮小、中止という残念な状態での学校評価アンケートであり、そんな中で生徒、保護者全体の評価が 4.0 以上で 80%以上の方に高評価をつけて頂いた。来年度は、より満足いただけるよう教育の質を高めるため、再考の必要な項目や評価の低い項目を注視し、改善の対象にしたい。</p> <p>学校目標 目指す学校像として「一人ひとりが自分らしい生き方で社会に貢献できるよう、豊かな人間性と確かな学力が育つ学校をめざす」という掲題のもと教育活動を行ってきたが、改善や進歩があった事項もみられるが、不十分な内容もみられる。来年度も周囲を見て行動できる心のやさしい、思いやりのある美しい心を持った生徒を育てたい。そういう心豊かな生徒を育てられるよう全職員で取り組んでいきたい。</p>	<p>○ 学校経営計画について 場面場面でのきめ細かい対応には評価できるものがある。中でも学習面において、習熟度別授業などは効果的で、低学年からも可能であれば実施できればよりよいとも思う。生徒一人ひとりに向き合う姿勢は昨年同様評価に値する。 コロナ禍においても、生徒の安全を最優先し、可能な限り生徒に向き合い、新たな形の行事等への取り組みなど、生徒の成長のために尽力する学校の姿は評価できる。</p> <p>○ 生徒・保護者による学校評価アンケート結果に対する外部評価 「クラブ活動」 コロナ禍により行事やクラブ活動に制限が多かった。コロナ禍においても可能な限り子供の育成のため、形を変えても提供できるよう工夫を期待したい。その中でも最大限に子供の活動をサポートできており、その活動は充実しており、生徒も楽しく参加し、顧問の指導にも満足している。 反面、時には顧問と生徒本人の意向に隔たりが見られる場合もあるため、生徒の意見を聞き入れ、理解できるコミュニケーションもこれからの課題と言える。</p> <p>「授業（配信・リモート授業）」 コロナ禍におけるリモート授業への全職員での取り組みは大変評価できる。授業時間も定められ家庭でも規則正しい生活の助けにもなっている。</p> <p>「人権教育」 人権教育は社会の多様化に向け、前向きな取り組みに評価するが、その反面少し生活面へのけじめに対してゆるみも見受けられるため、様々配慮が必要かと思われる。</p> <p>「進路指導」 進路指導については、生徒自身の夢や目標にしっかりと寄り添った指導であるかを再度学年団全員で確認してより良い指導に結び付けることが良い。</p> <p>「保護者会」 保護者との連携については、PTA行事などが制限されたため、正常活動に戻った時への引継ぎ等で心配は残るが、活動により、保護者間のつながりがもて有意義な活動なので次年度は少しでも活動の機会を増やすことが望まれる。</p> <p>○ 教員による自己評価集計結果報告に対する外部評価 日常とは異なる状況の中、教職員は様々なことに挑戦して「リモート授業の確立」や「新たな行事」への取り組んでいることは評価に値する。 生徒指導面では、たとえば「マナーアップ週間」のような新しい生徒主体の取り組みを実践し、より快活な教育活動を目指してほしい。 昨年に比べ、教科内での教員同士のコミュニケーションも強化されているように感じられた。今後もより期待したい。</p> <p>○ 結果 コロナ禍で例年の活動に制限が加わったため、例年との比較は難しいものの、肯定的な意見が多く、現在の中学校教育体制についても満足頂けている。 反面、課題や問題点も指摘いただいた。今後、問題点を整理し改善することにより、より良い学校づくりに努力したい。</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価
令和2年度

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 建学の精神・教育理念・教育方針に基づいて教育の実践を行い、私学としての独自性を発揮する	(1) 私学の独自性	<p>ア. 職員研修などを通じて、建学の精神・教育理念などを理解・実践する。</p> <p>イ. 入学式・卒業式・全体集会などを通じて、建学の精神・教育理念について生徒に話し、理解を深める。</p> <p>ウ. 教育方針「個性の尊重」「実行から学べ」「明朗と自主」「礼儀と品性」に沿って、学校行事も含めあらゆる教育活動を通して、人格形成を図る。</p>	<p>ア. 私学であるため教員による建学の精神及び教育理念の理解及び実践が4.2である。</p> <p>イ. 諸式を通じて校長講話の中で建学の精神や教育理念等の内容をわかりやすく説明する。(令和2年度4.2)</p> <p>ウ. 生徒指導部の月間目標に教育方針の内容を取り入れ、生徒に啓発を行う。(令和2年度4.2)</p>	<p>ア. 教員の建学の精神・教育理念の理解が定着してきている。(○)</p> <p>イ. 教員がよく理解し、それに基づいて教育を行うことができた。(○)</p> <p>ウ. 生徒指導部は毎月月間目標を設定し、教育方針の啓発に努めることができた。(○)</p> <p>(1)について概ね高評価で、これを維持する。</p>
	(2) 生徒のニーズに対応したコース制	<p>ア. 授業評価を検証し、改善点を見出し、生徒にとってより良い指導を行う。</p> <p>イ. 英数コースは、勉強はもとより部活動もしっかり取り組めるコース。心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。</p> <p>ウ. 英数発展コースは、夏期講習などで応用的な内容まで掘り下げた授業を展開し、何事も深く追求したいというニーズに応える。</p> <p>エ. 6年一貫コースは、総合的な学習の一貫である「自分プロジェクト」で自分の夢・目標を実現させる力を備え、これからの社会で活躍できる人材を育成する。</p>	<p>ア. それぞれのコースの特徴を理解し、コースの取組に満足しているかの設問に対し、教員の評価は4.1</p> <p>イ. (令和2年度 生徒4.1 保護者4.2)</p> <p>ウ. (令和2年度 生徒4.5 保護者4.3)</p> <p>エ. (令和2年度 生徒4.2 保護者4.3)</p> <p>全コース平均、令和2年度4.2でそれぞれのコース理解が浸透してきた。</p>	<p>ア. コースの特徴を理解し、授業評価を検証し、今年度に改善し実行できている。(○)</p> <p>生徒、保護者ともイ. ウ. エ. の全てのコースについての取り組みについて理解し満足している。(○)</p> <p>(2)は、ようやくコース理解が浸透してきたので、今後もコース理解に努める。</p>
	(3) 進路指導	<p>ア. 生徒が、より良い進路選択ができるよう、進路情報を提供するため、3年時2回の進路ガイダンスを行う。</p> <p>イ. 個々の生徒に応じた目標を実現させるよう、3年の1学期より希望調査をとり、進路相談や進路支援を行う。</p>	<p>ア. 生徒の将来を見据え、進路情報の提供や進路ガイダンスを行う。(令和2年度4.4)</p> <p>イ. 個々の生徒に応じた目標を実現させるよう、進路相談や進路支援を行なっている 令和2年度は4.5と0.3ポイント上昇し、目標値をクリアしている。</p>	<p>ア. 進路ガイダンスは定着しており、評価も昨年より0.2ポイント上昇した。(◎)</p> <p>イ. 進路相談も昨年に引き続き高評価である(◎)</p> <p>(3)の進路指導は中学校の要であり、これからもデータなどを整理し、進路面談に役立てたい。</p>

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
2 学習面において時代の変化に対応した、きめ細かい指導を行い確かな学力を育成するとともに、人権を尊重する学校づくりを行う	(1) 教科指導	<p>ア. 各教科はシラバスに沿って指導するが、グループ学習を取り入れ「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善に取り組む。</p> <p>イ. 授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業を行う。</p> <p>ウ. 学力の向上をめざすため、早朝テスト・放課後学習・休暇中の講習を実施する。</p>	<p>ア. 教員によるシラバスに沿った指導は高評価であるが、グループ学習及びALの取り入れについては進行中なので、まだ評価が低い、目標を4.0以上にする。(令和2年度4.1)</p> <p>イ. 教員による授業に創意工夫を行い、分かりやすい授業の展開の目標値を4.5にし、(令和2年度4.2)生徒・保護者による授業は分かりやすいか。(令和2年度 生徒4.1 保護者3.9)との開きが大きい、生徒保護者の目標値を4.2以上に設定する。</p> <p>ウ. 教員による生徒の学力向上・学習の遅れている生徒への支援を個々の生徒の実態に合わせて行なっているかの問いに対し(令和2年度3.8)と0.2ポイント評価が下降した。また、生徒・保護者による学校の学力向上への努力の数値は(令和2年度 生徒4.3 保護者4.0)となっている。保護者による生徒の学力向上への意欲が低く(令和2年度 生徒4.1 保護者3.7)4.0を目標としたい。</p>	<p>ア. 昨年と同じ評価が4.1であり、主体的・対話的で深い学びによる新しい学習形態も少しずつ取り入れることができている。(○)</p> <p>イ. 分かりやすい授業の展開について保護者評価は0.1ポイント上昇したが3.9と目標値に達していない。(△)</p> <p>ウ. 生徒の学力支援に対する教員評価は3.8と0.2ポイント下降し、生徒の勉強意欲については、4.1と本人は頑張っていると評価し、保護者は3.7と低く評価している。(△)</p> <p>教科指導について、生徒一人ひとりの弱点は多岐にわたるため、なかなか満足して頂くことが出来ていない、今後学力向上にむけての努力や意欲を伸ばすよう努めて行きたい。</p>
	(2) 人権教育	<p>ア. 「心のバリアフリー」の観点から、障害者理解を深めつつ、人権感覚を持ち相手の身になって行動できるよう、日々の学校生活すべての活動を通して人権教育を行う。</p> <p>イ. いじめ等を防ぐため各学年、日直面談を行い、学期ごとに「仲間づくりアンケート」を実施し、人権意識を育てる。</p> <p>ウ. 障がい者と外国人差別について(1年)、身分差別と平和学習(2年)、総まとめと進路について(3年)と学年毎にテーマを決め人権教育を行う。</p> <p>エ. 12月の人権週間には中学校行事として、人権講演を実施する。</p>	<p>ア. 教員は周囲の人を尊重し、よりよい人間関係を築いていく態度を養う教育を実践しており(令和2年度4.4)と高評価である。</p> <p>イ. 生徒・保護者による教員の「いじめ」の対応は適切か(令和2年度 生徒3.8 保護者3.8)と低い、目標は4.0以上と設定する。</p> <p>ウ. 教員は人権に係わる様々な問題に関心を持ち、人権意識を高める教育を実践している。この項目については4.5以上を目指したい。(令和2年度4.3)</p> <p>エ. 人権講演や道徳的な行事については(令和2年度 生徒4.4 保護者4.0)生徒の満足度は0.1ポイント上昇し、現在の人権教育を継続したい。</p>	<p>ア. 教員は学校生活すべての活動を通して人権教育を行っていると考えており、高い評価をつけている。(◎)</p> <p>イ. 教員のいじめ対応について、面談やアンケートにより未然に防ぐようにしているが、評価は低い。(△)</p> <p>ウ. 教員の人権意識を高める教育については、毎年高評価である。(○)</p> <p>エ. 人権講演や道徳的な行事に関して、特に生徒の理解は得られている。(○)</p> <p>人権教育に関しては高評価でもあり、今まで通り綿密な計画を立て、実施する。しかし、いじめに関しては、教員の努力の割には生徒、保護者に満足して頂いていない。今後、対応研修を重ねる努力をしたい。</p>

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>3</p> <p>基本的な生活習慣の確立を行うとともに、安全で安心な学校づくりと生徒への支援を行う。また、学校行事や部活動を通して豊かな人格形成を行う。</p>	(1) 生活指導	<p>ア. 個別の問題行動の対応にとどまることなく、基本的な生活習慣と規律ある態度を養う指導を行い、集団生活における社会性を身につけさせる。</p> <p>イ. 重点を置いた指導として、生徒指導部が中心となり、挨拶運動・シェアシート運動を実施する。</p>	<p>ア. 教員による、規則を守らせる指導・挨拶・礼儀を重んじる目標は 4.5 以上(令和2年度 4.1)と昨年と同じであった。しかし、生徒・保護者による教員が規則を守らせる指導 (令和2年度 生徒 4.4 保護者 4.1)と高評価である。</p> <p>イ. (令和2年度 生徒 4.0 保護者 3.8)と評価は低い。 生徒会を中心に積極的に挨拶運動を行い、風紀委員のおはよう会などと学校月間目標により、さらに啓発を行う。</p>	<p>ア. 規則を守らせる指導について全体的に評価は高く、特に生徒評価が 4.4 と高くなっている。(○)</p> <p>イ. 生徒指導部と生徒会を中心に挨拶運動など続けているものの評価は低く、引き続いて啓発を続ける。(△)</p> <p>規則を守らせる指導については高評価であるが、挨拶やマナーについては不十分なところも見られる、今後モラル教育も併せて指導してゆく。</p>
	(2) 危機管理と情報公開	<p>ア. 教職員は生徒の安全が何よりも大切であるという認識を持ち、危機管理マニュアルを作成し、安全・安心な学校をめざす。また、災害に備えて備蓄品を整える。</p> <p>イ. 情報モラル講演会などにより、スマートフォンなどの情報機器の正しい使用法を習得させる。</p> <p>ウ. 学校ホームページの公開掲示板等で可能な範囲の教育活動や情報の公開を行う。</p>	<p>ア. 安心・安全な学校を目指すには、危機管理マニュアルの整備(令和2年度 4.4)、緊急時の警察、消防との連携・訓練等の学校安全対策(令和2年度 4.2) はどちらも良い評価だが 4.5 以上を目指す。</p> <p>イ. 情報モラル講演会などで情報機器の正しい使い方が身についたか(令和2年度 生徒 4.3 保護者 3.7)と保護者の生徒への信頼が低い。</p> <p>ウ. 情報公開については、ようやく満足度が 4.0 に到達した、(令和2年度 生徒 4.1 保護者 4.0)今後 4.2 以上を目指す。</p>	<p>ア. 危機管理マニュアルの整備や学校安全対策は概ね高評価なので、これを維持したい。(○)</p> <p>イ. スマホなどの使用に関して、生徒と保護者の見解が大きく分かれている。オンライン授業など増える中、情報モラル教育を保護者に理解して頂けるようにする。(○)</p> <p>ウ. 引き続きホームページ、フェイスブックの工夫を加えながら満足して頂けるように努力する。(○)</p>
	(3) 学校行事や部活動	<p>ア. 社会性や協調性の育成のため、クラブ活動を奨励する。</p> <p>イ. 情操面を豊かに育てるため、宿泊研修、校外学習、耐寒オリエンテーリングなど多彩な行事を充実させる。</p>	<p>ア. 説明会やガイダンスなどで、クラブ活動の参加を奨励する。(令和2年度 生徒 4.3 保護者 3.9)</p> <p>イ. 多彩な行事の中で、協調性を持ちながら主体的に行動できる生徒を育てる。(令和2年度 生徒 4.3 保護者 3.6)</p>	<p>ア. クラブ活動については例年高評価であるが、保護者理解の評価をあげるよう努める。(○)</p> <p>イ. 今年度は感染症の影響で、研修等の宿泊を伴う行事が実施されず、日帰りの行事に振り替え、体育会などは形を変えて保護者の来校も遠慮し縮小実施したため評価が大きく下がっている。感染症の対策が万全になり次第、もとの形に戻すよう努力する。(△)</p>
	(4) 課題を抱えている生徒への支援	<p>ア. 生徒が抱えている問題に対して、きめ細かい相談・指導を行う。</p> <p>イ. 問題解決の部署としてICP(臨床心理研究所)の存在の明確化をするとともに、相談しやすい環境づくりに努める。</p>	<p>ア. 日頃、担任は日直面談等きめ細かい相談・支援を行なっている。(令和2年度 4.2)</p> <p>イ. 生徒の個人面談等の満足度は低い。(令和2年度 生徒 3.9)4.0 以上を目指したい。</p>	<p>ア. 担任は日直面談を続け生徒の変化を見逃さないよう努力している。(○)</p> <p>イ. 昨年より 0.1 ポイント上昇したが目標値ではなく、更なる努力が必要である。(△)</p>
<p>4</p> <p>保護者・同窓会・同窓会・後援会と社会貢献の連携</p>	<p>保護者・同窓会・後援会との連携をすすめるとともに、地域の社会活動に協力する。</p>	<p>ア. 保護者と協力し P T A 活動を活発にするとともに、保護者・同窓会・後援会との連携し、文化祭・体育会などの活動を支援する。</p> <p>イ. 復興支援やボランティア活動等で地域に協力する。</p>	<p>ア. 保護者から見る P T A 活動は(令和2年度 保護者 3.6)目標値まで大きく開いた、P T A 活動を支援したい。</p> <p>イ. 生徒から見る生徒会活動は(令和2年度 生徒 4.2)と昨年に続き目標値 4.0 を超えている。</p>	<p>ア. 今年度は感染症のため、P T A 活動が事実上あまりできなかった。そんな中、校内の除菌抗菌作業に援助を頂いたり、制服のリサイクルなど役員中心にできる最小限の活動をしていただいた。来年度はもとの P T A 活動に戻したい。(△)</p> <p>イ. 着実に生徒会活動は活発になっているが、感染症の影響の中、活動が限られていたが、評価は良かった。(○)</p>